

新たな県庁舎の基本設計

完成イメージ図

① 長崎港側から見た敷地全体のイメージ図



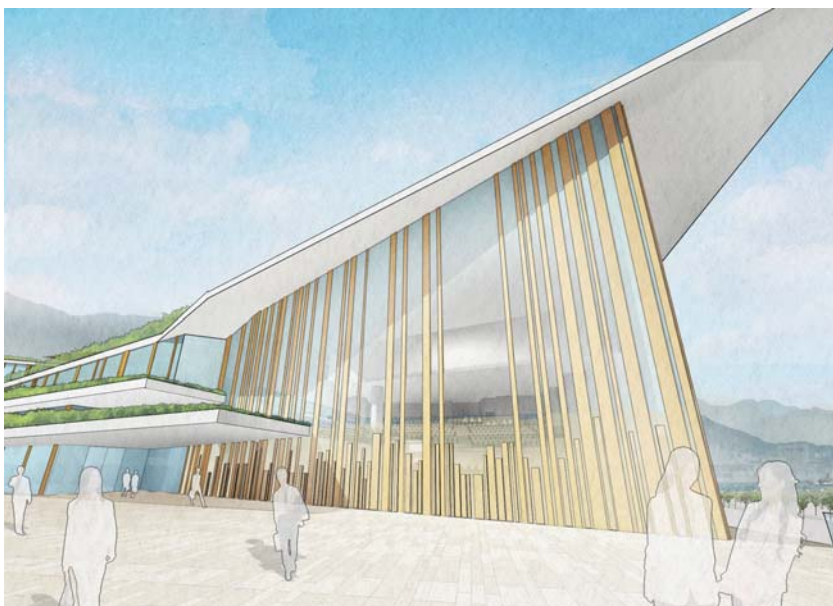
② 新長崎駅舎側から見た敷地全体のイメージ図



③ 防災緑地から見た行政棟のイメージ図



④ 屋上広場から見た議会棟のイメージ図



計画概要

建設予定地

所在地

長崎市尾上町（長崎魚市跡地）

敷地面積

約 30,000 m²
（防災緑地や臨港道路、
岸壁を含めると、約 58,000 m²）

スケジュール

区分	年度					
	23	24	25	26	27	28
行政棟・議会棟等の設計（本業務） （H24.3～H25.11）	●——● （約1年8箇月）					
警察棟の設計（別途業務） （H24.11～H25.11）	●——● （約1年）					
建設工事 （発注手続きを含む）	●——● （約2年6箇月）					

建物の規模

	行政棟	議会棟	駐車場棟	警察棟（参考）
建築面積	11,000 m ²	2,100 m ²	5,600 m ²	別途業務
延床面積 （基本構想）	46,140 m ² （49,000 m ² ）	6,480 m ² （6,500 m ² ）	12,255 m ² （11,000 m ² ）	22,000 m ² （20,000 m ² ）
駐車台数	約 40 台	—	約 350 台 （来庁者用約 200 台）	約 60 台
規模	地上 8 階 地下階無	地上 5 階 地下階無	地上 3 階 地下階無	別途設計中
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	
高さ	44.15m	24.40m	9.00m	

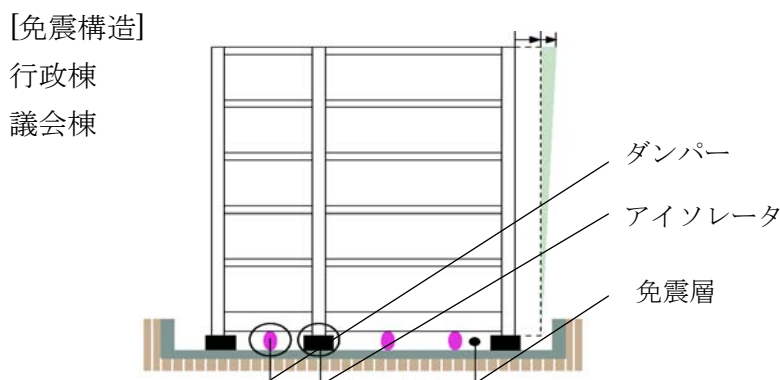
防災拠点となる県庁舎

特に重要な防災拠点施設としての基本性能を確保し、県民生活の安全・安心を支える庁舎にします。

地震・液状化対策

- ・建物損傷を最小にする免震構造を採用
- ・構造的に優位な低層の建物とする
- ・安全性の高い液状化対策工法を実施

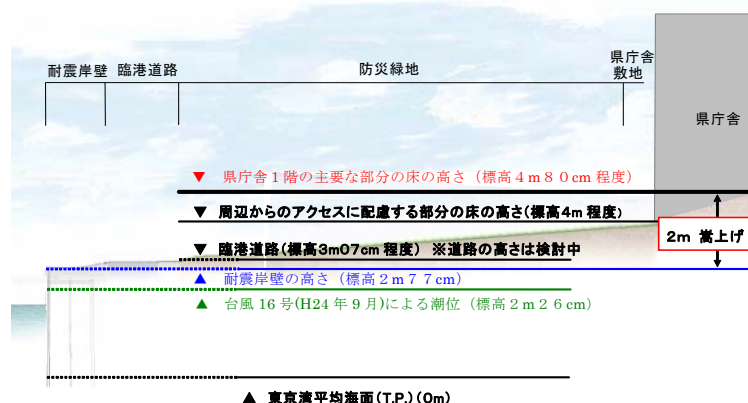
＜免震構造のイメージ図＞



津波・高潮対策

- ・庁舎敷地の嵩上げ（建物1階の床の高さを標高4.8m程度とする）を実施
- ・2階以上に主要な機械室を配置

＜岸壁と庁舎の床の高さのイメージ図＞



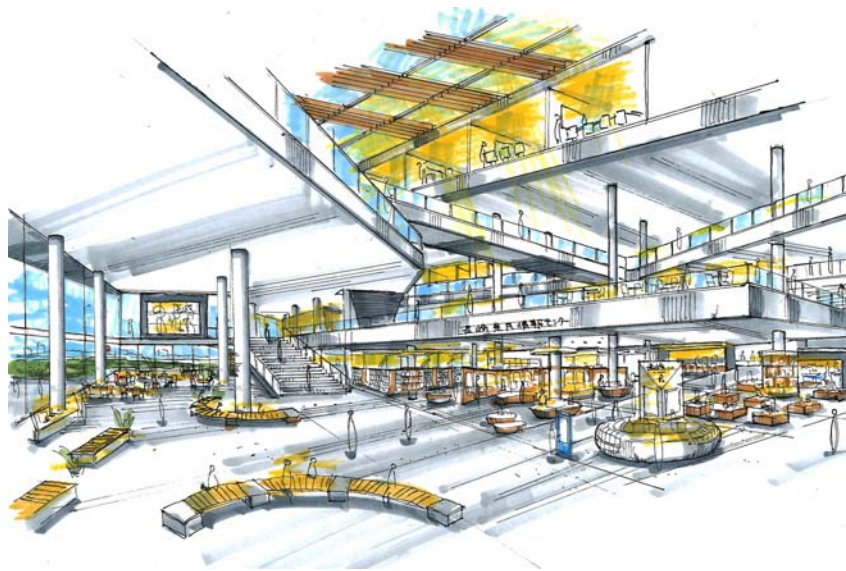
県民が親しみを感じる県庁舎

県民の皆さんが気軽に利用でき、憩いや交流と協働の場となる、親しみやすい庁舎とします。

行政棟

- エントランスホール、
県民情報センター（仮称）など（1階）
- ・ 情報発信や県民協働等のスペースを確保し、各種イベントにも活用
 - ・ 閉庁日にも利用可能

<エントランスホールのイメージ図>



展望施設（8階）

- ・ 長崎の海と山の風景を楽しめるよう夜間も含め、開放
- ・ 閉庁日にも利用可能

会議室（3階ほか）

- ・ 閉庁日には、貸し会議室として利用可能

駐車場棟

- ・ 来庁者用の駐車スペースを約 200 台分確保
- ・ 屋上広場は常に利用可能

議会棟

本会議場（3階）

- ・ 身近に感じられるよう屋上広場と隣接した3階に配置

<本会議場のイメージ図>



機能的で環境に優しい県庁舎

時代の変化などに対応した柔軟性の高い庁舎とし、また、自然エネルギーの積極的利用などにより、環境性能に優れた庁舎にします。

自然エネルギーの活用

- ・ 太陽光発電パネル
- ・ 自然採光
- ・ 自然換気 など

省エネルギー技術の導入

- ・ LED照明
- ・ 昼光利用による照明制御
- ・ 高効率な空調熱源機器 など